



禁止されている品目

どの品目がどのような理由で禁止されていますか。

セキュリティリスクのために、手荷物で運ぶことが許可されない特定の品目があります。禁止されている品目には、スポーツ用品、台所道具、ツールのほか、人を傷つけることが可能である鋭利な刃または先端の付いたものが含まれます。

次のリストは、禁止されている品目の例です。セキュリティ審査官は、セキュリティ審査地点において、その自由裁量でその他の品目を禁止する場合があります。品目が禁止されているかどうか確かでない場合は、航空会社に確認し、チェックイン荷物に入れるか、持って行かないください。

飛行機に搭乗する前に、運んでいる禁止品目を引き渡す必要があります。空港と航空会社には、引き渡された品目を保管または返却する義務はありません。

禁止されている品目

スポーツ用品、台所用品、用具、人を傷つけることが可能である先の尖ったその他の物品

- アイゼン
- ナイフ(革細工人ナイフを含む)
- ピッケルとアイスピック
- ピトン、フック、ハンマー、ボルトなどの岩登り用器具
- アイススケート
- 肉包丁
- 斧、まさかり、および同様なもの
- 金属製の刃物
- 覆われていない剃刀
- 外科用メス
- スキーのさお
- ダーツ
- ドリル
- カッターナイフ
- 道具ナイフ
- のこぎり
- 先端が金属のかさ
- スクレュードライバー、てこ、ハンマー、ペンチ、レンチ

武器ではないが、(改造してもしなくても)貫通によって危害を発生させる可能性がある鋭利なもの。

- 毛糸編みおよびクロッシェ編み用の針
- レター用ペーパーナイフ
- 穴あけ針
- 先のとがった金属製はさみ
- 先のとがった金属製爪やすり
- コルク抜き
- 剃刀の刃
- 皮下注射針(注射器に付いているかどうかに関わらず)



人を強制したり脅すために使用できる、先のとがっていないもの

- 野球、ソフトボールおよびクリケットのバットおよび同様のもの
- ホッケーとびら・クロススティックおよび同様のもの
- スカッシュ、テニス、バドミントンなどで使用されるラケット
- ビリヤード、プール、またはスヌーカーの突き棒
- ゴルフクラブ
- 人を脅すために十分大きい、木、金属またはその他の物体

燃焼可能な家庭用品

- スプレーペイントの缶を含むエアゾール容器
- ガソリンおよびその他の燃焼可能な液体
- 花火
- おもちゃのピストルの紙火薬

人を抑えるために使用できる品目

- 結束帯
- 手錠